

みぶまち・獨協健康大学 in 獨医祭！！

10月7日(土) 獨医祭にて、みぶまち・獨協健康大学の第1回フィールドワークを開催しました。今回は受講生のみなさんが、獨医祭に来た方達に健康課題や理想のまちについてインタビューを行いました。参加してくれた研究室配属メンバーに今回の感想を聞きました！



今回、獨医祭で初めて健康大学に参加して、普段の学生生活の中ではなかなか関わることのできない年代の方や地域の方と話し合うことができました。健康大学に所属されているみなさんの明るく元気な雰囲気の中、獨医祭に訪れた方へのインタビューを経て、壬生町の健康課題について認識し、改善策についても考えました。また、インタビューを受けてくださった方は10代から70代までと幅広く、さまざまな角度で壬生町の医療連携の実情、地域住民同士の関わりについて知ることができました。機会があれば、ぜひまた健康大学の方々と一緒に活動したいです。(1年 石渡)

今回、壬生町健康大学にはじめて参加させていただきました。壬生町の方や高齢者の方と話す機会があまりなかったので、インタビューを通して、町民の方の壬生町に対する思いを聞いたのが新鮮で楽しかったです。参加していただいた方に、普段は家族以外と会うことがないと聞き、若い人と話して元気をもらえたと言ってもらえたのがすごく嬉しくて、もっと壬生町の方と関わる機会を増やしたいと思いました。少しの間だけでしたが、壬生町の方に元気を届けられた気がして嬉しかったです笑Bird-Gとして今回はTシャツを作ったのですが、今度はファイルとかみんなが使えるグッズを作りたいと思っています！(3年 猪野)



今回私は初めて健康大学に参加しました！最初はまず人がそんなに来るのかなと不安でしたが、思ったよりたくさんの方がいらっやってくさとお話することができました！今回は主に壬生町の住民と健康についてお話をしたのですが、交通の便が悪いため移動が大変であることや、宇都宮市と比べると高齢者へのサポートが充実していないなど色々な意見を聞くことができました。また、若い方と話す機会もたくさん設けてほしいという意見もありました。壬生町の方々にとって安心して住みやすい街になっていけたらいいなと思っています。壬生町の方と交流でき楽しかったです！(3年 松本)



今回作成した“Bird-G Tシャツ”
それぞれ色違いで着用しました！



5年生メンバー樋上さんのドイツ研修報告♪

みなさん、こんにちは。獨協医科大学医学部5年の樋上まこと申します。今回、学内の海外研修のプログラムで8/19から9/2にかけてミュンスター大学にて実習をさせていただいたので、そのことについて今回報告させていただきます。



私が訪れたミュンスターはドイツの北西部のノルトファーレン州にある人口30万人強の都市で、そこにミュンスター大学はあります。ミュンスター大学は15学部280専攻、学生数44500人を誇る総合大学で、ミュンスター大学と獨協医科大学は2004年に提携を結んでから、互いに学生を派遣しています。コロナの影響で2019年を最後に、派遣を中止していましたが、今年から再開されました。



私たちは主に2つのことを行いました。1つ目はドイツの医学生とコロナ禍の違いについてディスカッションを行い、ポスターを制作し、先生方の前で発表しました。ワクチンについて間違った情報が広がり問題になったり、最初ワクチンに対しネガティブなイメージを持っている人が多かったが、レストランやホテルでワクチン接種証明書が求められることが多くなりワクチン接種率が上昇するなど日本と類似点があった一方で、歌手や俳優などを起用しワクチン接種を促したり、家族以外の人と一緒に家で食事をしたりすると罰金を取られるなどドイツと日本のコロナ禍の違いを知ることができました。またドイツ人は小学生の頃からディスカッションのトレーニングを積んでいるため、自分の意見を論理的に伝えることに長け、私たちがポスターのテーマを考える時は的確なアドバイスをくれました。

2つ目はドイツの医学生と超音波、ACLS、気管挿管、静脈路確保の練習を行いました。ミュンスター大学では独自に超音波のトレーニングを行う実習を行っており、ドイツの医学生からさまざまなことを教えていただきました。私たちは大学病院では見るだけだったので、実際にプローブを握らせてもらえてとても勉強になりました。今回の海外研修でドイツ人の友人ができたり、ドイツで2週間生活することでドイツ人と密に関わることで文化や慣習の違いを感じることも大変貴重な経験をさせていただきました。



2週間という短い期間でしたが、日本と似ているところもあり、もう少し長く滞在したいと思わせてくれるような素敵な街、人々に出会うことができました。獨協生のみなさんもチャンスがあればチャレンジしてみてください。もし何か質問があれば連絡ください。

海外の医学生との交流はなかなかできる経験ではありません。多くのことを学び感じた2週間だったことがわかります。一步を踏み出すことで新しい世界が広がることを教えてくれる報告だったと思います。樋上さん、ありがとうございました！

編集後記

今回も読んでくれてありがとうございました。みなさんのご協力のおかげで今度も発行することができました。今年も銀杏並木の紅葉がきれいですね。あっという間に寒い冬がやってきますが、短い秋を皆さん楽しみましょう。次回もお楽しみに。

参加してくれたみなさん、ありがとうございました。普段は関われない住民の皆さんと色々な話ができたようで良かったです。受講生の方たちも世代を超えた交流ができてとても楽しかったですね。健康大学は、この後もフィールドワークを重ね、まちの課題をまとめていく予定です。